

# 退職者連絡会

第62号  
(発行・編集)  
JR九州労組  
退職者連絡会  
鹿児島地区本部

## 少数激戦を制し、見事当選 「ふくし山」(鹿市区) 「湯浅」(始良市区) 両氏 「岩切」(宮崎市区)氏 支援団体等の総力戦で勝利

鹿児島県議選など統一地方選挙は、四月九日投票が行われ、JR九州労組推薦候補の「ふくし山ノブスケ」氏が少数激戦を制し、四期目の闘いを見事八位で当選を勝ち取りました。

また、その他の推薦・支持候補四名のうち湯浅慎太郎氏(始良市区)は無投票当選、秋丸健一郎氏(霧島市・始良市区)は、長年続いた保守基盤の一角を崩し、見事と初陣を飾りました。また、宮崎県議選の岩切達哉氏は三期目の当選を果たしました。しかし、屋久弘文氏(薩摩川内市区)は活動が今

年一月からと短く、その遅れが響き惜敗となりました。鹿児島市・鹿郡区に於ける県議選は、



支持者より祝福の花束を受け取る候補

動や、地元唐湊・紫原における集中的なチラシ入れなど票の掘り起こしと、電話による点検行動等が展開されました。その結果、前半の遅れを取り戻し、投票日を迎えました。午後十一時三〇分

当確の発表があり、集結していた支持者から大きな歓声と拍手が沸き上がりました。徳留正和事務局長(南国交通労組)の司会が始まり、冒頭、古殿義輝選対委員長(全水道労組)が挨拶「地元をはじめ支援労組など多く皆様のお力添えで四期目を勝ち取る事ができました。心から感謝します」と御

礼を述べました。大拍手の中、「ふくし山ノブスケ」候補が登壇「厳しい闘いでしたが、皆様の支援で再選を果たすことができました。四期目はこれまで以上に安心・安全・平和で持続可能な社会実現を目指し頑張る」と御礼と決意を述べました。

### 出陣式で必勝の決意固め合う

三月三十一日(金)告示を迎え、午前九時より、事務所前の



### 編集後記

市議らが次々と登壇し、必勝への決意と激励を行ないました。その後、「ふくし山ノブスケ」候補より、働く者の目線で県政に訴える旨の力強い決意表明がなされました。

退職者連絡会会員を始め、現職、JRグループ関係の皆様のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。【当選】  
福司山直介(鹿市区) 湯浅慎太郎(始良市区) 岩切達哉(宮崎市区) 秋丸健一郎(霧島市・始良市区) 【惜敗】屋久弘文(薩摩川内市区)

紫原平和公園で桜満開の下「ふくし山ノブスケ」候補の出陣式が行なわれ、後援会をはじめ、支援労組、地元支持者ら約二〇〇名が結集しました。谷口恵子後援会事務局長の開会挨拶ではじまり、古殿義輝選対委員長、徳留文和後援会長、野元一喜支援団体代表、入佐あつ子元鹿児島

県議選も九日審判が下された。かつてなく女性躍進が際立ち過去最多の十二人が立候補、十一人が議席を得た。また、鹿市・郡区では立憲民主党の女性二候補が、一万数千票を獲得した。しかし投票率は、激戦区にも関わらず、三七・三一%で過去最低を記録した。政治への無関心は何故か。もつと暮らしを身近に感じさせる県政が求められる。女性議員の奮起を期待したい。